

優秀指導者招聘事業①②兼リフレッシュ研修会

日 程：2026 年 7 月 19 日(日)／2026 年 7 月 20 日(月)

場 所：ハートフルスクエア G 大研修室・長良川スポーツプラザ大会議室・新日本ガス球技メドウ

テ ー マ：世界基準から見た日本の育成への示唆 ～U17W 杯報告から世界と日本の差を認識する～

参 加 者：7/19(日)…46 名 ・ 7/20(月)…28 名

補 助 選 手：FC 岐阜 U18 選手…34 名

チューター：大畑 開 氏 JFA ナショナルコーチングスタッフ／U15 日本代表コーチ

【受講生の感想】

- ボールに寄せる、カバーするという基本的な動きは日本代表クラスでも重要なファクターと分かり、継続して子供達に指導していこうと思いました。また、海外の選手との違いでシュートを振り切って打つことができないことを挙げられており、自チームでも積極的にシュートを打つ練習を取り入れたいと感じました。最後に指導を細かくすることで選手達の情熱を抑えてしまっているかもしれないという葛藤を感じることもあるというのが印象的で自分も省みるところがあるのではないかと見つめ直す機会になりました。 加納西スポーツ少年団サッカー部 高橋憲一郎さん(指導者)
- 実践的な内容でとても良い経験になりました。普段選手に伝えたい事が、上手く言語化できないと悩んでいたところでした。大畑さんの言語化能力に特に感銘を受けました。「関係性」というワードは今後多用し、選手たちに大切にさせていきたいと思います。このような機会を作っていただき、ありがとうございます。 中京高校 渡邊貴之さん(指導者)
- 自分のチームではあまり言われてこなかったことや、U17W 杯での成果や課題が聞けて自分たちに必要なことや足りないものが分かったのがすごくうれしかった。日本が通用する部分もあったりしたという話を聞いて、自分のチームでも前からのプレスはやっているからすごく分かりやすくて自分の分からなかったこととかも分かるようになったからめっちゃいい経験をしたと思います。 FC 岐阜 U-18 安藤 拓斗さん(選手)
- 講義では、自分と同じ去年の U17 のワールドカップの話聞いて、世界のレベルはやっぱりとても高いなと実感したし、今の A 代表の選手で U17 のワールドカップのメンバー出ていたのは 5 人だったので、今開花してなくても、可能性はあるとわかったので腐らずに努力し続けたいと思いました。実技では、1 つ 1 つどういうプレーをした方がいいか具体的に言ってくれて、苦手な守備の原則を教えてくれた。またより良いプレーはなんなのか、選手に問いかけながらする指導がとても良かった。いい経験ができてよかったです。 FC 岐阜 U-18 白木 亜錬さん(選手)

【担当チューターより成果と課題】

今年度の優秀指導者招聘事業は JFA ナショナルコーチングスタッフで U15 日本代表コーチの大畑開さんに岐阜県へお越しいただきました。当初は 7/20(月)のみ研修会の予定でしたが、前日の 7/19(日)の講義も快く引き受けてくださいました。

当事業は国民スポーツ大会の競技力向上を目的として、全国の優秀な指導者を招聘し選手・指導者へ新たな学びを提供することを重点としています。指導対象が 4 種の指導者も多く参加し、指導種別問わず U17W 杯の報告から世界基準を認識できたのではないかと思います。日本の成果として、守備面ではコンパクトな陣形や守備範囲の広さ・ロングボール対応やヘディング、攻撃面では選手同士の関係性からの崩し・ラインブレイク等世界を相手でも引けを取らないとのことでした。課題として、ゴールをこじ開ける力やシュートを振り切るといった“この瞬間!!”を逃さないという部分が、上位進出した国との差であるとの報告がありました。

2 日目は FC 岐阜 U18 の選手を対象に指導実践を行っていただきました。ゴール前の攻防をテーマに、ラインを下げず寄せせる守備・攻撃ではシュートチャンスを逃さないとの指導が印象的でした。指導の中では、「明確なプレーの基準の提示」し、提示したことに対し選手の「プレーをジャッジする」ことをシンプルかつ的確な言葉で選手たちに指導され、短い時間の中でプレーの改善が繰り返されました。

次回は 12 月 12 日(土)を予定しています。「学び続ける大人」が子ども達を成長させると思います。次回も多くの指導者・保護者の皆さんに参加いいただきたいと思います。学びを通して、一緒に岐阜県の子ども達のサッカー環境をよりよくしていきましょう！ 岐阜県サッカー協会 牧野 健

【講義の様子】

